

多賀城市こども計画策定にかかる調査
集計報告書
【抜粋版】

令和8年1月

多賀城市

I 調査の概要

I-1. 調査の目的と実施概要

(1) 調査の目的

こども計画に包含される「次世代育成支援」「こどもの貧困対策」「こども・若者支援」策定にかかる施策検討の参考資料とするため、18～39歳のこども・若者の現状や将来の希望、子育て当事者の悩みや子育て支援ニーズ、経済状況別の子ども・家庭の生活実態を把握するためのアンケート調査を実施した。

(2) 調査概要

■調査対象及び回収状況

調査名	調査対象	配付数	回収数	回収数		有効回収率
				紙	Web	
こども・若者調査	18歳～39歳の方	3,000票	709票	234票	475票	23.6%
保護者調査	就学前児童、小学1～4年生の保護者	3,802票	1,634票	347票	1,287票	43.0%
子どもの生活実態調査	小学5年生児童 中学2年生生徒 16～17歳の方 及び 上記の保護者	1,703票	1,078票	1,078票	—	63.3%

■調査方法及び調査期間

調査名	抽出方法	調査方法	調査期間
こども・若者調査	無作為抽出	・郵送配付・回収、Web回答	令和7年9月26日～ 10月15日
保護者調査		・就学前児童保護者：郵送配布・回収、Web回答 ・小学1～4年生保護：学校経由チラシ配布・Web回答	
子どもの生活実態調査	全数調査	・小学5年生、中学2年生及びその保護者：学校経由配布・回収 ・16～17歳及びその保護者：郵送配布・回収	令和7年9月25日～ 10月10日

I-2. 調査結果を読む際の留意事項

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現していません。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記するため、すべての比率の合計で100%前後の誤差が生じる場合があります。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることをあらわします。
- 母数が100未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中では省略した表現を用いる場合があります。

参考：標本誤差について

標本誤差とは、調査結果と母集団における実際の値との差を示すものです。

例えば、以下の表を用いて、信頼水準95%、回答者数700人、回答比率50%の場合を考えると、標本誤差は±3.7%であるので、母集団の値は46.3%から53.7%にあると推測でき、その推測が的中する確率が約95%である、ということの意味します。

■ 信頼水準95%の場合の標準誤差

回答者数	回答者の比率				
	10% または90%	20% または80%	30% または70%	40% または60%	50%
2,000	±1.3	±1.8	±2.0	±2.1	±2.2
1,500	±1.5	±2.0	±2.3	±2.5	±2.5
1,000	±1.9	±2.5	±2.8	±3.0	±3.1
700	±2.2	±3.0	±3.4	±3.6	±3.7
500	±2.6	±3.5	±4.0	±4.3	±4.4
100	±5.9	±7.8	±9.0	±9.6	±9.8
50	±8.3	±11.1	±12.7	±13.6	±13.9

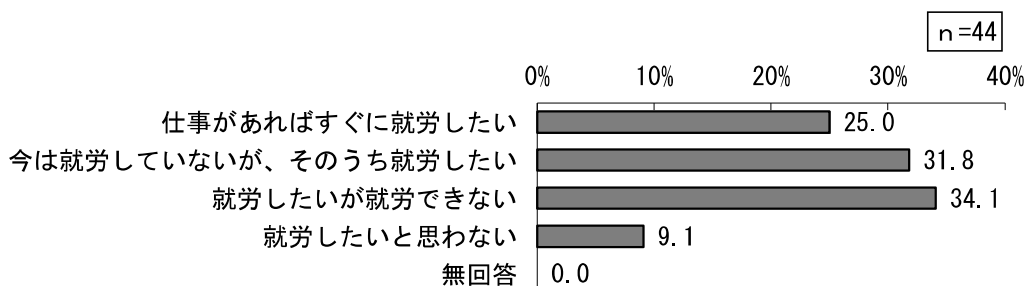
Ⅱ こども・若者調査

就労について

※現在就労していない方に尋ねる問です

問9 今後、就労することについて、どう考えていますか。(1つに○)

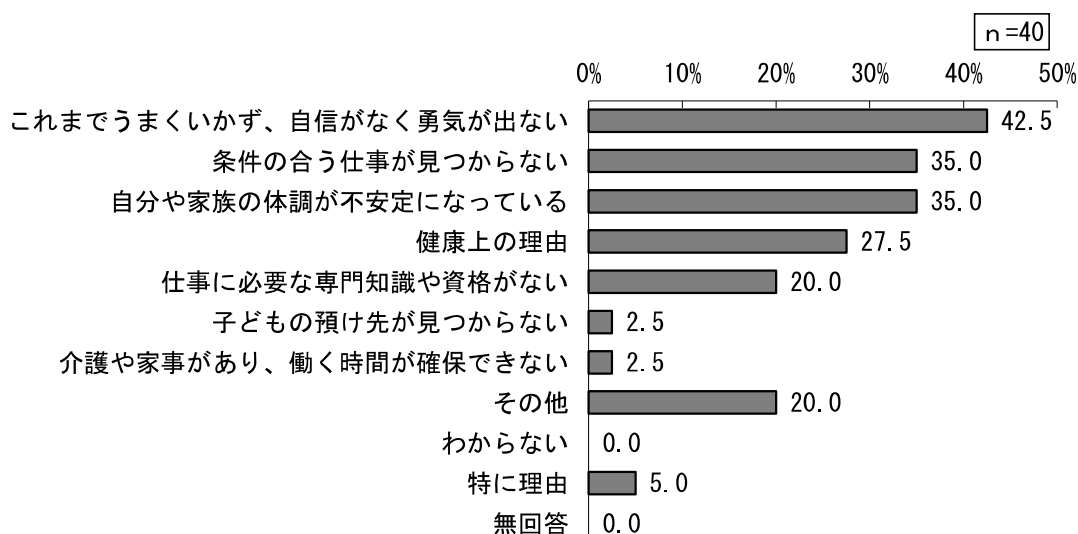
- 『就労したい』(「仕事があればすぐに就労したい」+「今は就労していないが、そのうち就労したい」+「就労したいが就労できない」)は90.9%となっています
- 一方で、「就労したいが就労できない」が34.1%みられます。



※就労意向がある方に尋ねる問です

問9-1 就労したいと思うのに、現在、就労していない(就労できない)理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

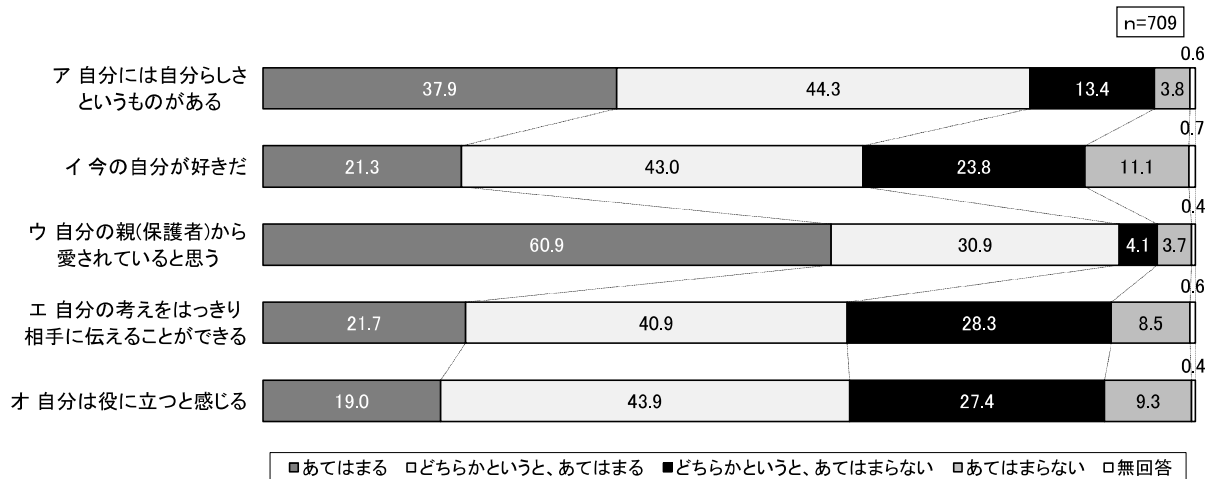
- 「これまでうまくいかず、自信がなく勇気が出ない」が42.5%と最も高くなっています。次いで「条件の合う仕事が見つからない」、「自分や家族の体調が不安定になっている」がともに35.0%となっています。



自分のことについて

問12 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。(ア～オについて、それぞれ1つに○)

- 『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかという、あてはまる」）をみると、「ウ 自分の親(保護者)から愛されていると思う」が91.8%と最も高くなっています。次いで、「ア 自分には自分らしさというものがある」が82.2%、「イ今の自分が好きだ」が64.3%となっています。
- 一方で、『あてはまる』が最も低いのは、「エ 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」の62.6%となっています。
- 社会生活・日常生活の状況別をみると、今まで、現在ともに、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況に『あった』、『ある』方が、各項目の『あてはまる』の割合が低くなる傾向がみられます。



■社会生活・日常生活の状況別 集計結果

ア 自分には自分らしさというものがある

		n	あてはまる	どちらかという、あてはまる	どちらかという、あてはまらない	あてはまらない	無回答
全体		709	269	314	95	27	4
		100.0	37.9	44.3	13.4	3.8	0.6
問22-ア 今までに社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況にあったか	あった	174	65	65	28	14	2
		100.0	37.4	37.4	16.1	8.0	1.1
	どちらかという、あった	155	52	78	21	4	0
		100.0	33.5	50.3	13.5	2.6	0.0
なかった	どちらかという、なかった	116	44	56	15	1	0
		100.0	37.9	48.3	12.9	0.9	0.0
なかった		257	106	111	30	8	2
		100.0	41.2	43.2	11.7	3.1	0.8
問22-イ 現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況にあるか	ある	41	11	16	7	7	0
		100.0	26.8	39.0	17.1	17.1	0.0
	どちらかという、ある	93	29	42	17	3	2
		100.0	31.2	45.2	18.3	3.2	2.2
ない	どちらかという、ない	196	64	94	30	7	1
		100.0	32.7	48.0	15.3	3.6	0.5
ない		367	160	157	40	9	1
		100.0	43.6	42.8	10.9	2.5	0.3

イ 今回の自分が好きだ

		n	あてはまる	どちらかという と、あて はまる	どちらか という と、あて はまらない	あてはま らない	無回答
全体		709 100.0	151 21.3	305 43.0	169 23.8	79 11.1	5 0.7
問22-ア 今ま でに社会生活 や日常生活を 円滑に送れて いない状況に あったか	あった	174 100.0	26 14.9	62 35.6	39 22.4	45 25.9	2 1.1
	どちらかという と、あった	155 100.0	24 15.5	74 47.7	44 28.4	13 8.4	0 0.0
	どちらかという と、なかった	116 100.0	22 19.0	60 51.7	31 26.7	3 2.6	0 0.0
	なかった	257 100.0	77 30.0	107 41.6	53 20.6	17 6.6	3 1.2
問22-イ 現 在、社会生活 や日常生活を 円滑に送れて いない状況に あるか	ある	41 100.0	5 12.2	8 19.5	11 26.8	17 41.5	0 0.0
	どちらかという と、ある	93 100.0	9 9.7	39 41.9	27 29.0	16 17.2	2 2.2
	どちらかという と、ない	196 100.0	30 15.3	97 49.5	54 27.6	15 7.7	0 0.0
	ない	367 100.0	104 28.3	157 42.8	75 20.4	28 7.6	3 0.8

ウ 自分の親(保護者)から愛されていると思う

		n	あてはまる	どちらか という と、あて はまる	どちらか という と、あて はまらない	あてはま らない	無回答
全体		709 100.0	432 60.9	219 30.9	29 4.1	26 3.7	3 0.4
問22-ア 今ま でに社会生活 や日常生活を 円滑に送れて いない状況に あったか	あった	174 100.0	87 50.0	57 32.8	11 6.3	18 10.3	1 0.6
	どちらかという と、あった	155 100.0	93 60.0	48 31.0	10 6.5	4 2.6	0 0.0
	どちらかという と、なかった	116 100.0	67 57.8	45 38.8	2 1.7	2 1.7	0 0.0
	なかった	257 100.0	182 70.8	66 25.7	6 2.3	2 0.8	1 0.4
問22-イ 現 在、社会生活 や日常生活を 円滑に送れて いない状況に あるか	ある	41 100.0	17 41.5	14 34.1	0 0.0	10 24.4	0 0.0
	どちらかという と、ある	93 100.0	42 45.2	36 38.7	8 8.6	6 6.5	1 1.1
	どちらかという と、ない	196 100.0	109 55.6	73 37.2	12 6.1	2 1.0	0 0.0
	ない	367 100.0	258 70.3	93 25.3	9 2.5	6 1.6	1 0.3

エ 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

		n	あてはまる	どちらかという と、あて はまる	どちらか という と、あて はまらない	あてはま らない	無回答
全体		709 100.0	154 21.7	290 40.9	201 28.3	60 8.5	4 0.6
問22-ア 今ま でに社会生活 や日常生活を 円滑に送れて いない状況に あったか	あった	174 100.0	31 17.8	58 33.3	60 34.5	23 13.2	2 1.1
	どちらかという と、あった	155 100.0	26 16.8	65 41.9	50 32.3	14 9.0	0 0.0
	どちらかという と、なかった	116 100.0	25 21.6	51 44.0	34 29.3	6 5.2	0 0.0
	なかった	257 100.0	69 26.8	116 45.1	53 20.6	17 6.6	2 0.8
問22-イ 現 在、社会生活 や日常生活を 円滑に送れて いない状況に あるか	ある	41 100.0	7 17.1	8 19.5	16 39.0	10 24.4	0 0.0
	どちらかという と、ある	93 100.0	18 19.4	32 34.4	31 33.3	10 10.8	2 2.2
	どちらかという と、ない	196 100.0	24 12.2	93 47.4	62 31.6	16 8.2	1 0.5
	ない	367 100.0	100 27.2	156 42.5	88 24.0	22 6.0	1 0.3

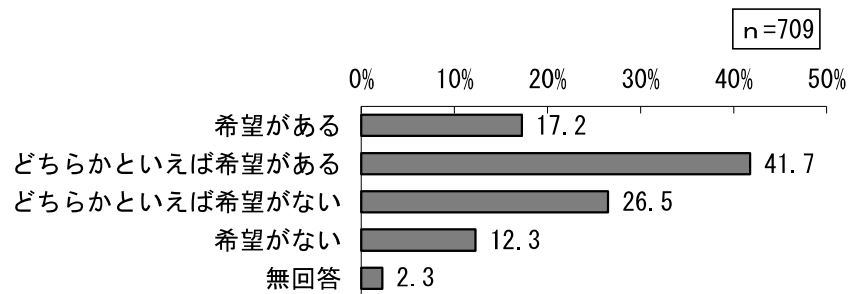
オ 自分は役に立つと感じる

		n	あてはまる	どちらか という と、あて はまる	どちらか という と、あて はまらない	あてはま らない	無回答
全体		709 100.0	135 19.0	311 43.9	194 27.4	66 9.3	3 0.4
問22-ア 今ま でに社会生活 や日常生活を 円滑に送れて いない状況に あったか	あった	174 100.0	24 13.8	54 31.0	60 34.5	35 20.1	1 0.6
	どちらかという と、あった	155 100.0	22 14.2	78 50.3	49 31.6	6 3.9	0 0.0
	どちらかという と、なかった	116 100.0	17 14.7	64 55.2	29 25.0	6 5.2	0 0.0
	なかった	257 100.0	70 27.2	114 44.4	53 20.6	18 7.0	2 0.8
問22-イ 現 在、社会生活 や日常生活を 円滑に送れて いない状況に あるか	ある	41 100.0	4 9.8	3 7.3	17 41.5	17 41.5	0 0.0
	どちらかという と、ある	93 100.0	16 17.2	39 41.9	28 30.1	9 9.7	1 1.1
	どちらかという と、ない	196 100.0	19 9.7	94 48.0	66 33.7	17 8.7	0 0.0
	ない	367 100.0	93 25.3	172 46.9	79 21.5	21 5.7	2 0.5

将来の希望について

問 17 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。（1つに○）

- 『希望がある』（「希望がある」＋「どちらかといえば希望がある」）は 59.0% となっています。
- 人生設計について考えたことの有無別に『希望がある』をみると、考えたことの『ある』方が、『希望がある』が高くなっています。



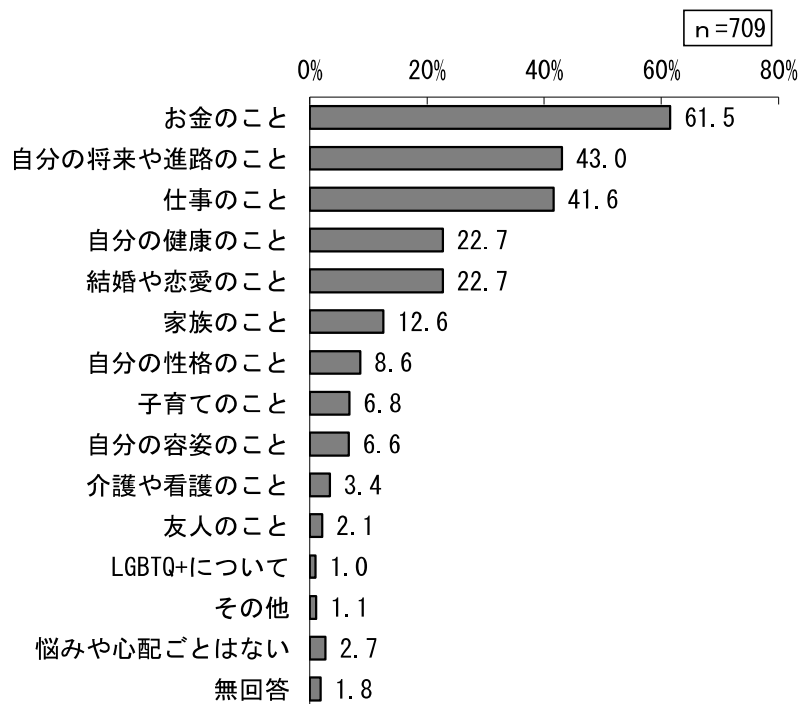
■人生設計について考えたことの有無別 集計結果

		n	希望がある	どちらか といえば 希望がある	どちらか といえば 希望がない	希望がない	無回答
全体		709	122	296	188	87	16
		100.0	17.2	41.7	26.5	12.3	2.3
問18 自分の将来についての人生設計(ライフプラン)について、どの程度考えたことがあるか	よく考えたことがある	160	58	68	20	14	0
		100.0	36.3	42.5	12.5	8.8	0.0
	少し考えたことがある	247	41	122	68	15	1
		100.0	16.6	49.4	27.5	6.1	0.4
	どちらともいえない	61	0	25	29	7	0
	100.0	0.0	41.0	47.5	11.5	0.0	
あまり考えたことがない	92	4	25	42	21	0	
	100.0	4.3	27.2	45.7	22.8	0.0	
全く考えたことがない	28	1	6	4	17	0	
	100.0	3.6	21.4	14.3	60.7	0.0	

悩みごと・心配ごとについて

問 19 あなたが今、悩んだり、心配したりしていることは何ですか。
(特に大きなもの3つまでに○)

- 「お金のこと」が61.5%と最も高くなっています。次いで「自分の将来や進路のこと」が43.0%、「仕事のこと」が41.6%となっています。

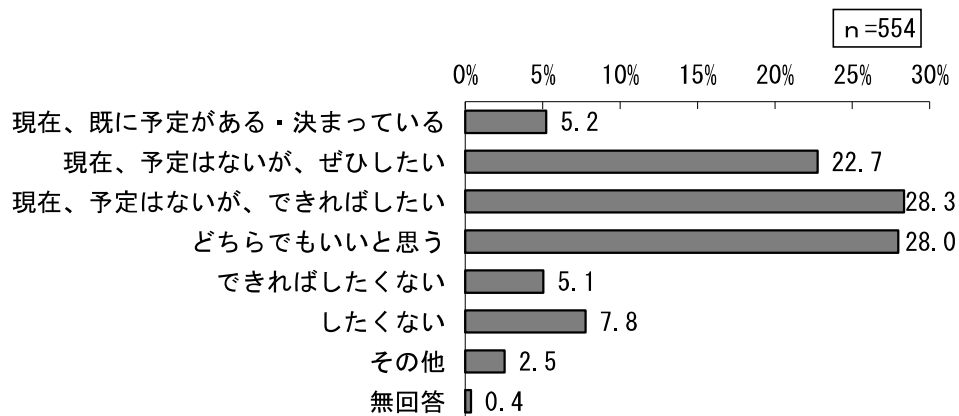


結婚について

※現在結婚していない方に尋ねる問です

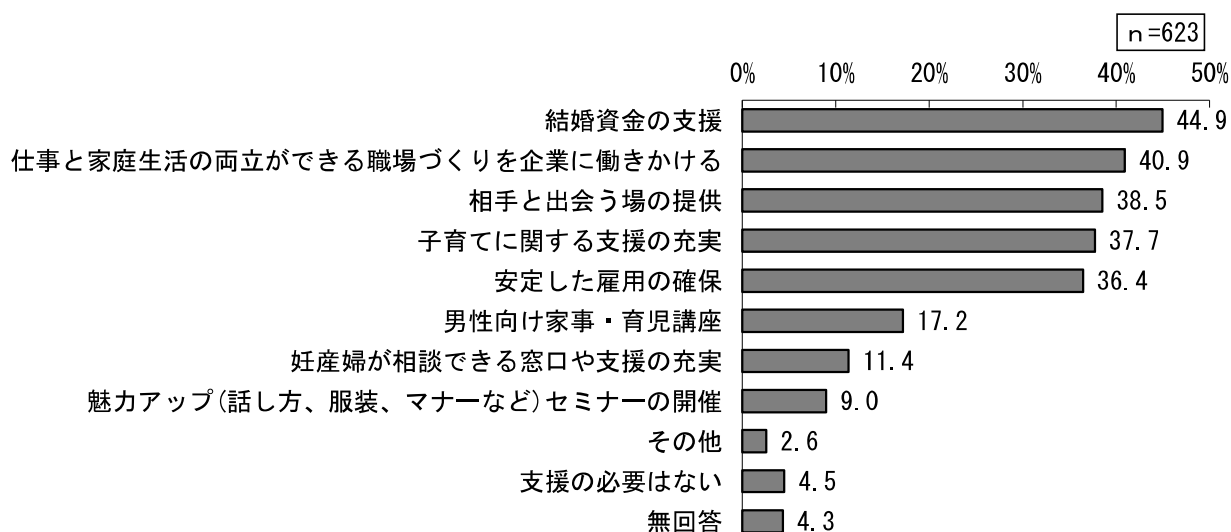
問 25-1 あなたは今後、結婚したいと思いますか。（1つに○）

- 『結婚したい』（「現在、予定はないが、できればしたい」＋「現在、予定はないが、ぜひしたい」）は51.1%となっています。



※現在結婚している、結婚予定がある、結婚意向がある方に尋ねる問です
 問 26 結婚を希望する人に対して、どのような支援に力を入れたらいいと思いますか。(主なもの3つまでに○)

- 「結婚資金の支援」が44.9%と最も高くなっています。次いで「仕事と家庭生活の両立ができる職場づくりを企業に働きかける」が40.9%、「相手と出会う場の提供」が38.5%となっています。
- 配偶者やパートナーの有無別にみると、『配偶者やパートナー、恋人はいない』では「相手と出会う場の提供」が最も高くなっています。



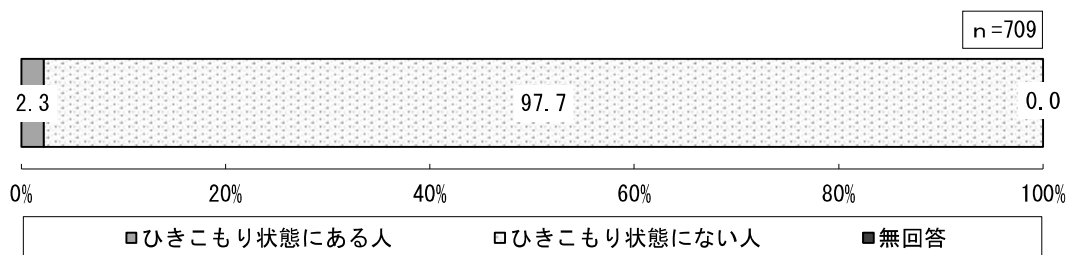
■配偶者やパートナーの有無別 集計結果

		相手と出会う場の提供	結婚資金の支援	魅力アップ(話し方、服装、マナーなど)セミナーの開催	男性向け家事・育児講座	子育てに関する支援の充実	妊産婦が相談できる窓口や支援の充実	安定した雇用の確保	仕事と家庭生活の両立ができる職場づくりを企業に働きかける
		n							
全体		623	280	56	107	235	71	227	255
		100.0	38.5	44.9	9.0	17.2	37.7	11.4	36.4
問25 現在、配偶者やパートナー、恋人はいるか	配偶者やパートナー、恋人はいない	306	134	117	27	54	102	26	105
		100.0	43.8	38.2	8.8	17.6	33.3	8.5	34.3
	配偶者はいないが、パートナー、恋人はいる(未婚)	163	44	99	7	28	77	28	65
		100.0	27.0	60.7	4.3	17.2	47.2	17.2	39.9
	配偶者(事実婚・内縁を含む)がいる	145	62	64	22	24	55	16	56
		100.0	42.8	44.1	15.2	16.6	37.9	11.0	38.6
			その他	支援の必要はない	無回答				
		n							
全体		623	16	28	27				
		100.0	2.6	4.5	4.3				
問25 現在、配偶者やパートナー、恋人はいるか	配偶者やパートナー、恋人はいない	306	8	14	17				
		100.0	2.6	4.6	5.6				
	配偶者はいないが、パートナー、恋人はいる(未婚)	163	1	2	4				
		100.0	0.6	1.2	2.5				
	配偶者(事実婚・内縁を含む)がいる	145	7	11	0				
		100.0	4.8	7.6	0.0				

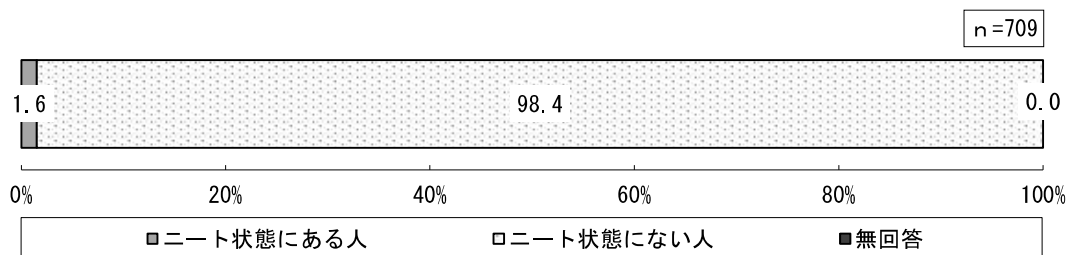
ひきこもり・ニートについて

- 調査結果を用いて、ひきこもり状態・ニート状態にある人を算出しました。
- 本市におけるひきこもり状態にある人は 2.3%、ニート状態にある人は 1.6%となっています。

■ひきこもり状態にある人の割合



■ニート状態にある※の割合



※本調査においては、ひきこもり状態にある人、ニート状態にある人を以下のよう
に定義しています。

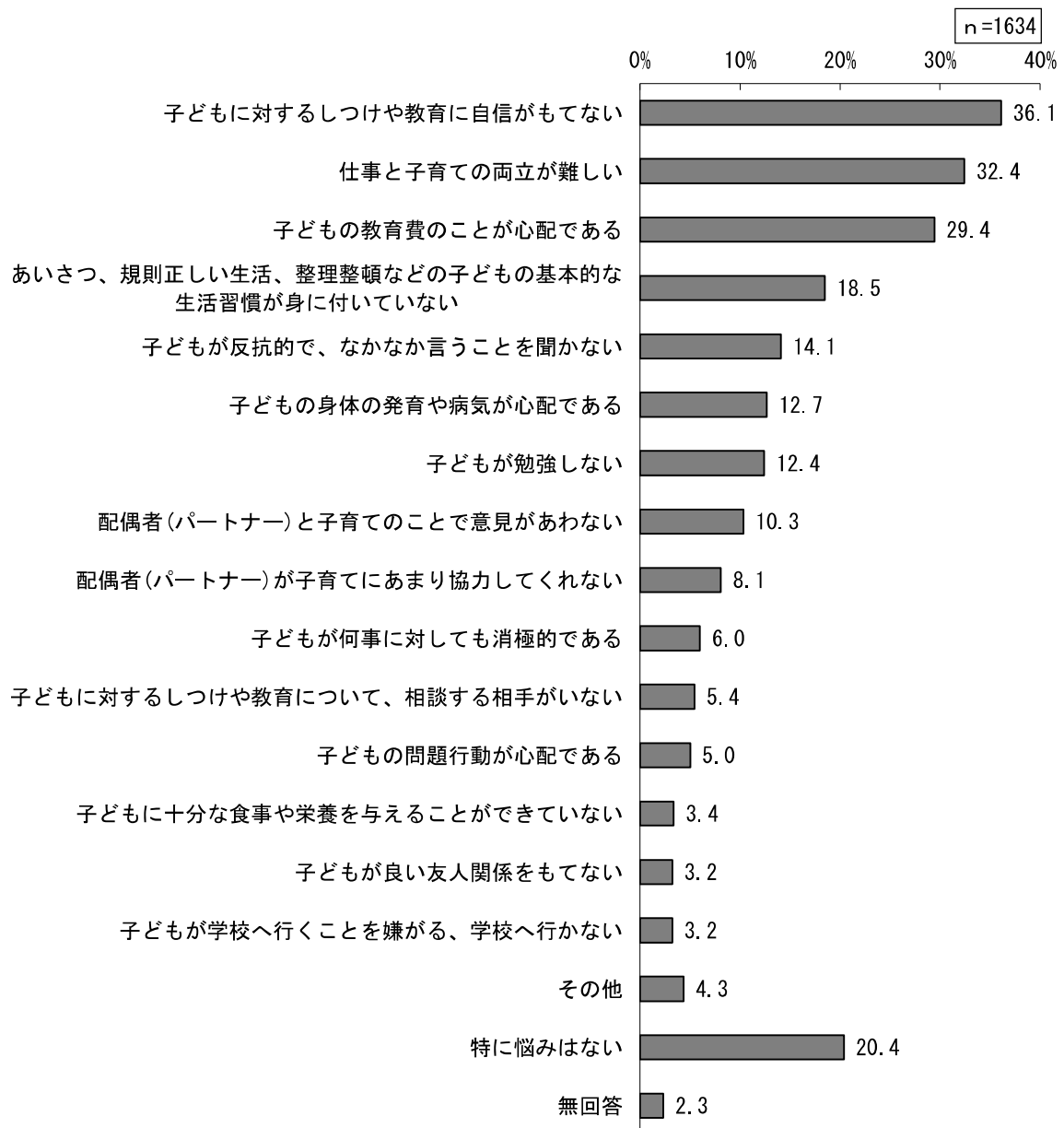
- ・ひきこもり状態にある人：ほとんど外出しない状況が半年以上続き、その理由が妊娠・出産や仕事、身体的病気や統合失調症以外の人
- ・ニート状態にある人：就労や求職活動、在学、通学をしていない方のうち、結婚しておらず家事もしていない人

Ⅲ 保護者調査

こどもや子育ての悩みについて

問 15 お子さんや子育てについて、現在悩んでいることはどのようなことですか。

- 「子どもに対するしつけや教育に自信がもてない」が 36.1%と最も高くなっています。次いで「仕事と子育ての両立が難しい」が 32.4%、「子どもの教育費のことが心配である」が 29.4%となっています。



- 子どもの年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「あいさつ、規則正しい生活、整理整頓などの子どもの基本的な生活習慣が身に付いていない」、「子どもが反抗的で、なかなか言うことを聞かない」が高くなっています。

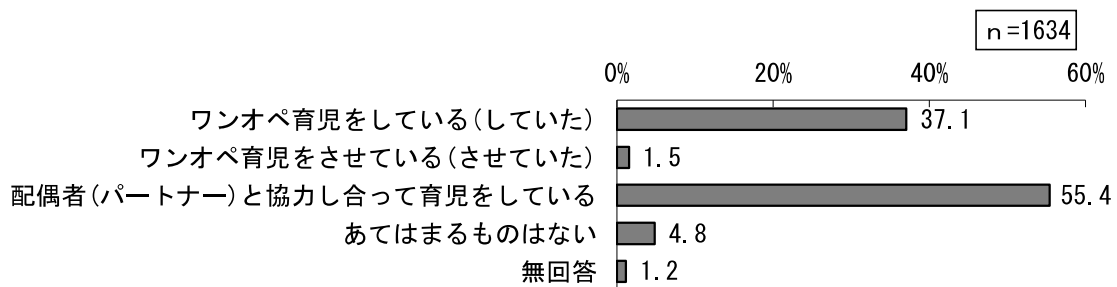
■ 属性別 集計結果

		n	子どもに対するしつけや教育に自信がもてない	子どもに対するしつけや教育について、相談する相手がいない	仕事と子育ての両立が難しい	配偶者(パートナー)が子育てにあまり協力してくれない	配偶者(パートナー)と子育てのことで意見があわない	あいさつ、規則正しい生活、整理整頓などの子どもの基本的な生活習慣が身に付いていない	子どもが勉強しない	子どもが反抗的で、なかなか言うことを聞かない	子どもが何事に対しても消極的である
全体		1634 100.0	590 36.1	89 5.4	530 32.4	132 8.1	169 10.3	302 18.5	203 12.4	230 14.1	98 6.0
子どもの学年	0歳	169 100.0	61 36.1	7 4.1	59 34.9	10 5.9	10 5.9	8 4.7	1 0.6	2 1.2	1 0.6
	1、2歳	354 100.0	125 35.3	19 5.4	129 36.4	22 6.2	36 10.2	30 8.5	4 1.1	35 9.9	5 1.4
	3～5歳	406 100.0	130 32.0	25 6.2	135 33.3	37 9.1	38 9.4	64 15.8	18 4.4	51 12.6	13 3.2
	小学1年生	220 100.0	97 44.1	11 5.0	83 37.7	21 9.5	29 13.2	57 25.9	44 20.0	38 17.3	31 14.1
	小学2～4年生	462 100.0	169 36.6	27 5.8	118 25.5	40 8.7	55 11.9	138 29.9	136 29.4	101 21.9	47 10.2
	全体		1634 100.0	53 3.2	207 12.7	82 5.0	53 3.2	481 29.4	55 3.4	71 4.3	333 20.4
子どもの学年	0歳	169 100.0	1 0.6	21 12.4	5 3.0	1 0.6	51 30.2	5 3.0	9 5.3	54 32.0	5 3.0
	1、2歳	354 100.0	3 0.8	41 11.6	11 3.1	4 1.1	100 28.2	16 4.5	14 4.0	80 22.6	12 3.4
	3～5歳	406 100.0	11 2.7	58 14.3	19 4.7	6 1.5	118 29.1	17 4.2	21 5.2	87 21.4	15 3.7
	小学1年生	220 100.0	9 4.1	28 12.7	12 5.5	13 5.9	63 28.6	5 2.3	14 6.4	33 15.0	1 0.5
	小学2～4年生	462 100.0	28 6.1	58 12.6	34 7.4	29 6.3	143 31.0	11 2.4	13 2.8	69 14.9	4 0.9
			n	子どもが良い友人関係をもてない	子どもの身体の発育や病気が心配である	子どもの問題行動が心配である	子どもが学校へ行くことを嫌がる、学校へ行かない	子どもの教育費のことが心配である	子どもに十分な食事や栄養を与えることができていない	その他	特に悩みはない

ワンオペ育児について

問 16 次のうち、あなたの状況に近いものは何ですか。（1つに○）

- 「配偶者(パートナー)と協力し合って育児をしている」が 55.4%と最も高くなっています。一方で、「ワンオペ育児をしている(していた)」が 37.1%となっています。
- 婚姻状況別に「ワンオペ育児をしている(していた)」をみると、『離婚』『未婚』では7~8割、『結婚している』では 34.7%となっています。



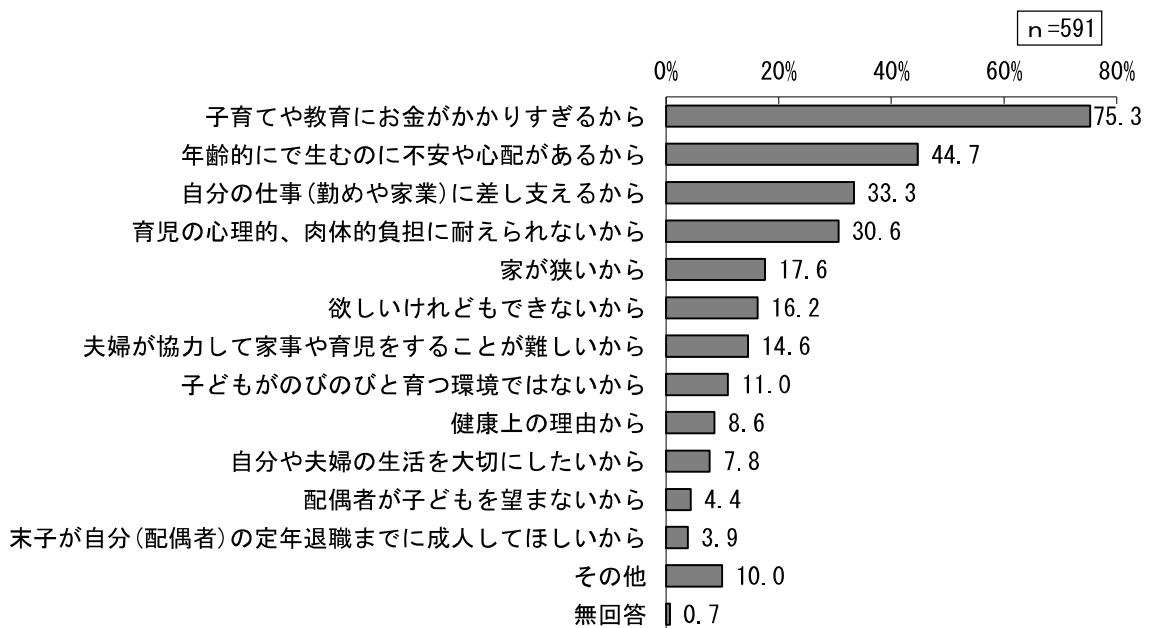
■ 婚姻状況別 集計結果

		n	ワンオペ育児をしている(していた)	ワンオペ育児をさせている(させていた)	配偶者(パートナー)と協力し合って育児をしている	あてはまるものはない	無回答
全体		1634	606	25	905	79	19
		100.0	37.1	1.5	55.4	4.8	1.2
問5 あなたの婚姻状況	結婚している(再婚や事実婚を含む)	1508	523	25	892	53	15
		100.0	34.7	1.7	59.2	3.5	1.0
	離婚	81	56	0	1	22	2
		100.0	69.1	0.0	1.2	27.2	2.5
	死別	3	3	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
未婚	17	14	0	0	2	1	
	100.0	82.4	0.0	0.0	11.8	5.9	
いない、わからない	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

子どもの数について

※持つ予定の子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない方に尋ねる問です
問 27 持つ予定の子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはどうしてですか。
(あてはまるものすべてに○)

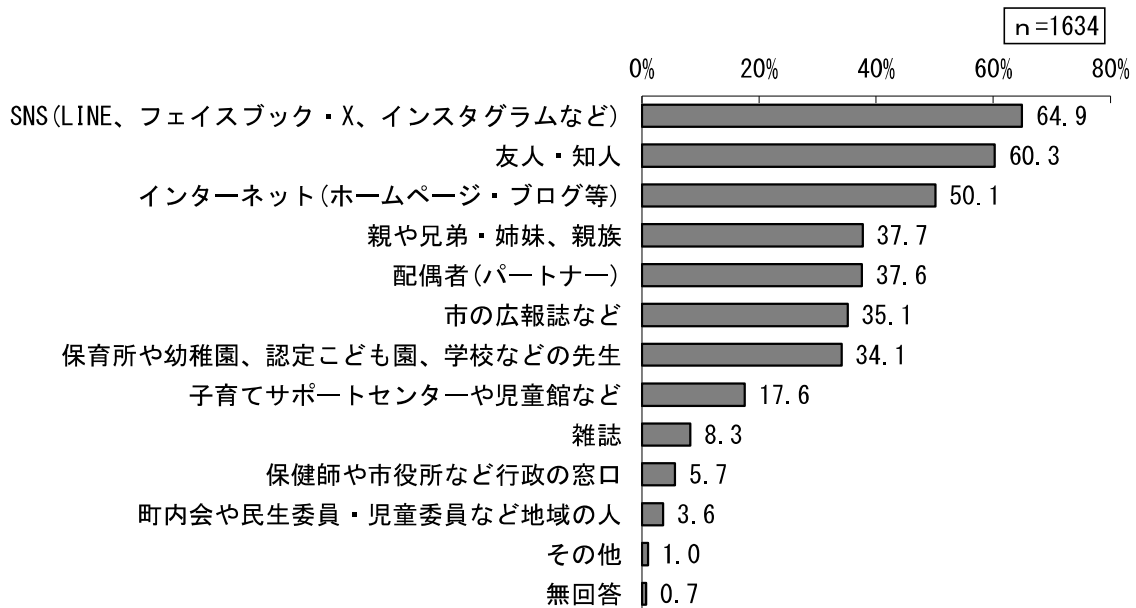
- 「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が75.3%と最も高くなっています。次いで「年齢的に生むのに不安や心配があるから」が44.7%、「自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから」が33.3%となっています。



子育て情報、子ども・子育て支援について

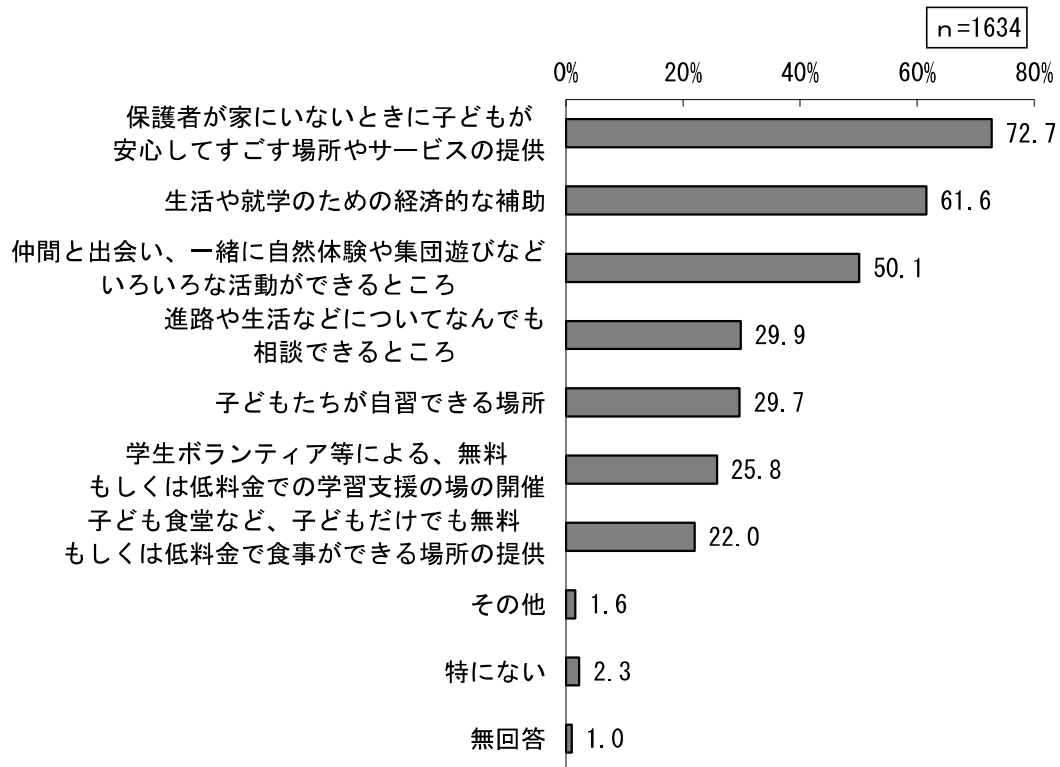
問 34 あなたは、子育てに関する情報をどこから手に入れますか。

- 「SNS(LINE、フェイスブック・X、インスタグラムなど)」が64.9%と最も高くなっています。次いで「友人・知人」が60.3%、「インターネット(ホームページ・ブログ等)」が50.1%となっています。



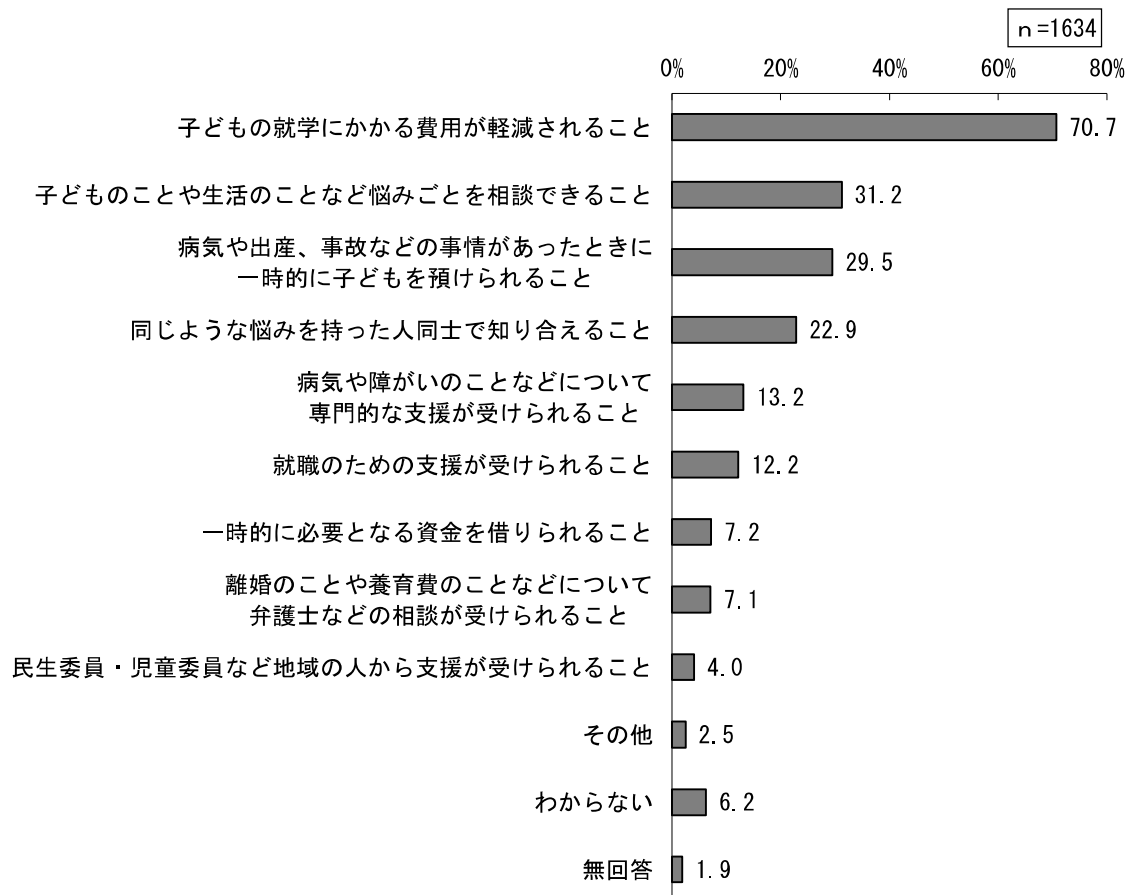
問 35 お子さんにとって、現在または将来的に、次のような支援があった場合、利用したいと思いますか。利用したいと思うものを教えてください。

- 「保護者が家にいないときに子どもが安心してすごす場所やサービスの提供」が72.7%と最も高くなっています。次いで「生活や就学のための経済的な補助」が61.6%、「仲間と出会い、一緒に自然体験や集団遊びなどいろいろな活動ができるところ」が50.1%となっています。



問 36 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。

- 「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が 70.7%と最も高くなっています。次いで「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」が 31.2%、「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」が 29.5%となっています。



IV 調査結果【子どもの生活実態調査】

参考：貧困線について

貧困線とは、生活に必要なものを購入できる最低限の収入を表す指標（それ以下の収入では、一家の生活を支えることが困難であると考えられています。）です。

本調査においては、貧困の状況にあると考えられる家庭やその子どもの状況を把握するにあたり、本市の「貧困線」を設定した上で、『貧困線以上』と『貧困線未満』の世帯の違いについて比較分析を行いました。

本調査では、世帯人数と年間収入の回答結果のみで『貧困線未満』と『貧困線以上』を区分していること、調査結果は今回の調査方法による限られた回答から算出したものであり、本市すべての状況ではないことに留意が必要です。

また、国民生活基礎調査を基にした国の貧困線は可処分所得を用いて算出していますが、本調査においては年間収入を用いて算出しているため、国の貧困線とは算出方法が異なっています。

■世帯人数ごと年間収入による貧困線の設定

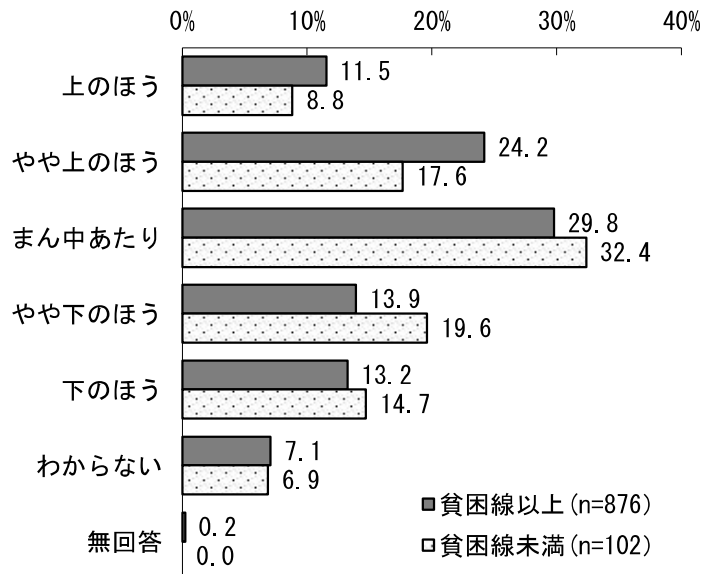
世帯人数	貧困線未満	国における 貧困線の基準※
1人世帯	163万円未満	127万円
2人世帯	230万円未満	180万円
3人世帯	281万円未満	220万円
4人世帯	325万円未満	254万円
5人世帯	363万円未満	284万円
6人世帯	398万円未満	311万円
7人世帯	430万円未満	336万円
8人世帯	460万円未満	359万円
9人世帯	488万円未満	381万円

※令和4年国民生活基礎調査結果による貧困線「127万」に、世帯人数の平方根を掛けて算出。

成績について

問5 あなたの成績は、クラスの中でどれくらいだと思いますか。(1つに○)

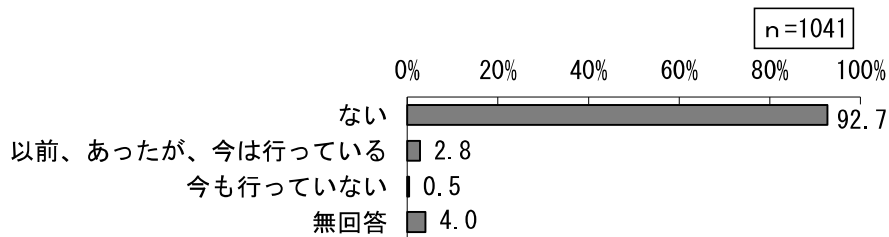
- 貧困線別にみると、『貧困線未満』は『貧困線以上』に比べ、「下のほう」、「やや下のほう」が高く、「上のほう」や「やや上のほう」が低くなっています。



不登校について

問 10 あなたは、半年以上、学校に行かなかったことはありますか。(1つに○)

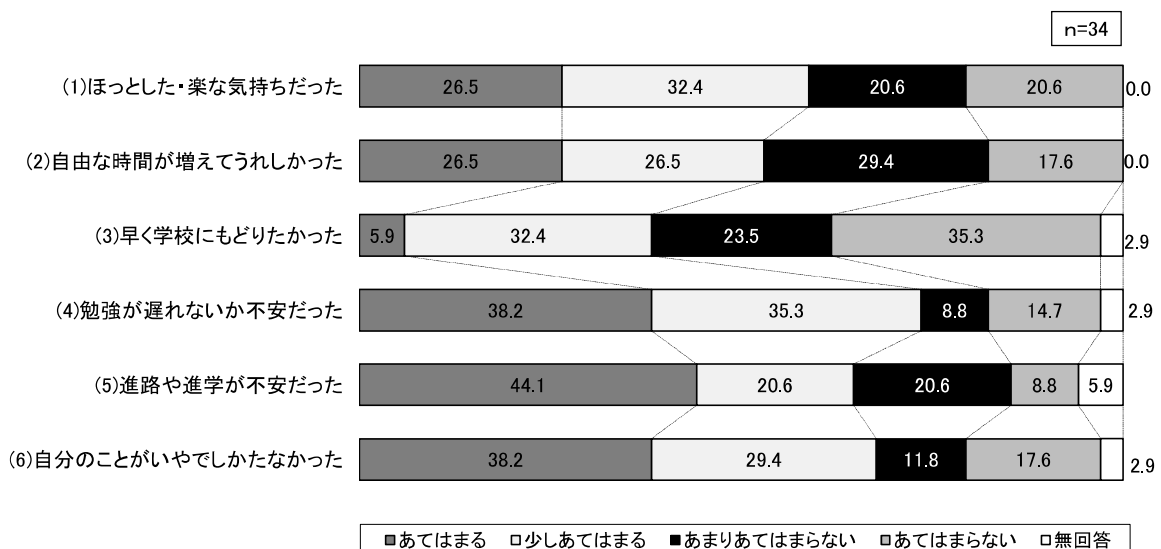
- 「ない」が92.7%と最も高くなっています。次いで「以前、あったが、今は行っている」が2.8%、「今も行っていない」が0.5%となっています。



※半年以上学校に行かなかった経験がある、行っていない方に尋ねる問です

問 10-1 学校を休んでいる間、どのような気持ちでしたか。(1)～(6)のそれぞれ1つに○)

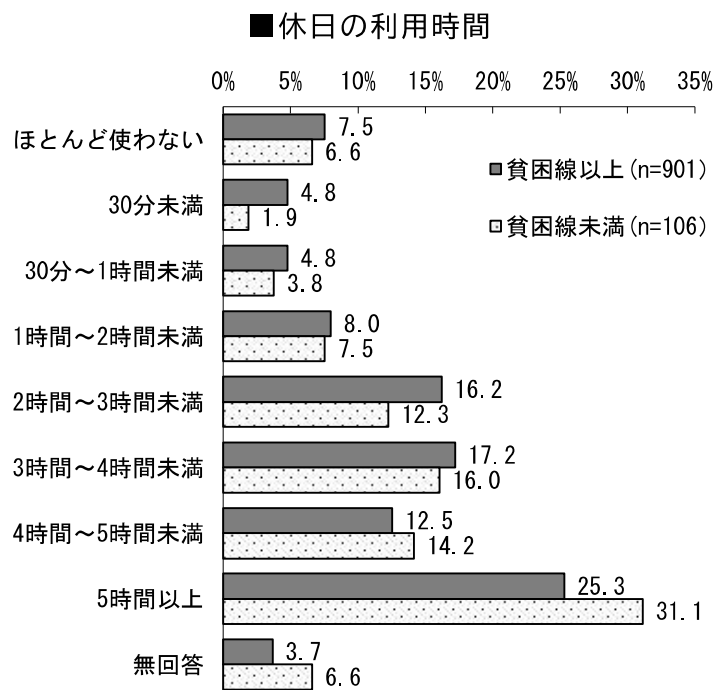
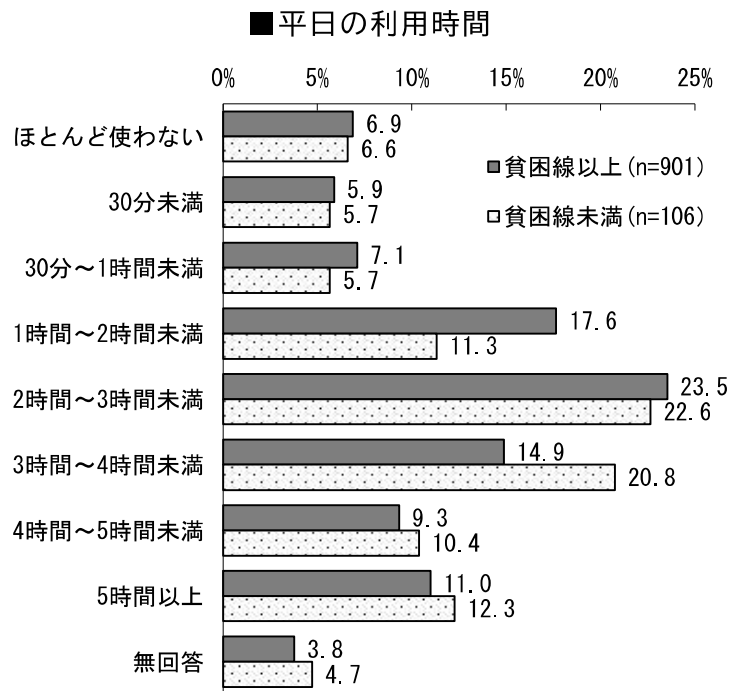
- 『あてはまる』(「あてはまる」+「少しあてはまる」)をみると、「(4)勉強が遅れないか不安だった」が73.5%と最も高くなっています。次いで、「(6)自分のことがいやでしかたなかった」が67.6%、「(5)進路や進学が不安だった」が64.7%となっています。
- 一方で、『あてはまらない』(「あてはまらない」+「あまりあてはまらない」)をみると、「(3)早く学校にもどりたかった」が58.8%と高くなっています。



スマートフォン・タブレットの使用について

問 17 普段、スマートフォンやタブレットをどのくらい使いますか。

○ 『貧困線未満』は『貧困線以上』に比べ、長時間利用の割合が高くなっています。

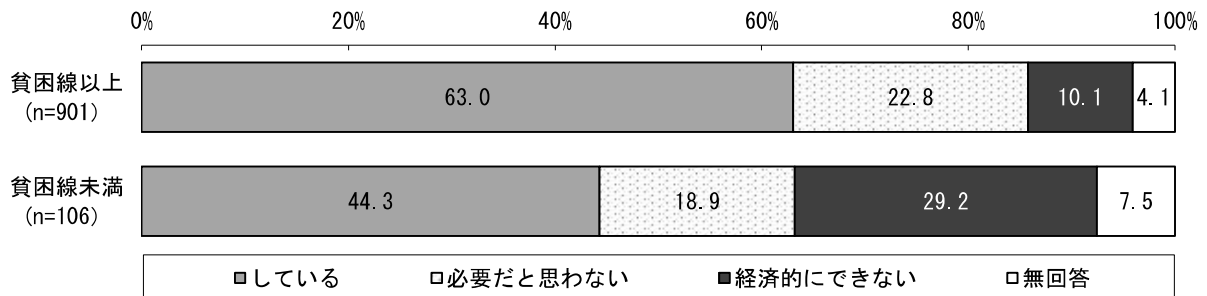


家庭でこどもにしていることについて

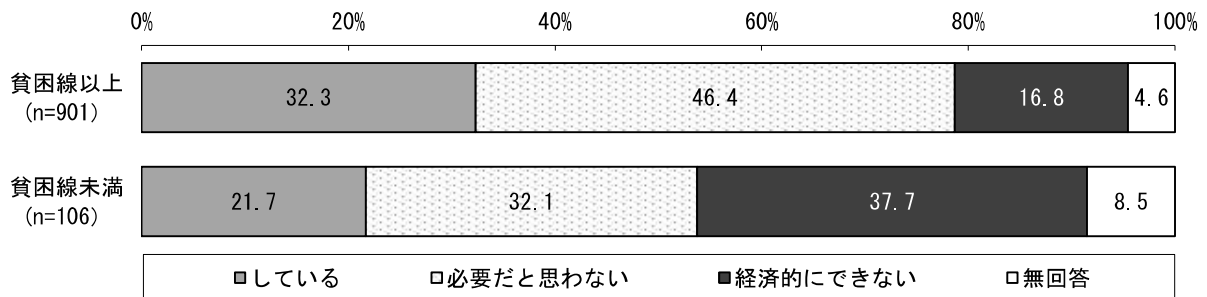
問 36 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。(それぞれ1つに○)

- 『貧困線未満』は『貧困線以上』に比べ、「(4) 学習塾に通わせる」、「(6) 1年に1回くらい家族旅行に行く」「(6) 1年に1回くらい家族旅行に行く」において、「経済的にできない」が高くなっています。

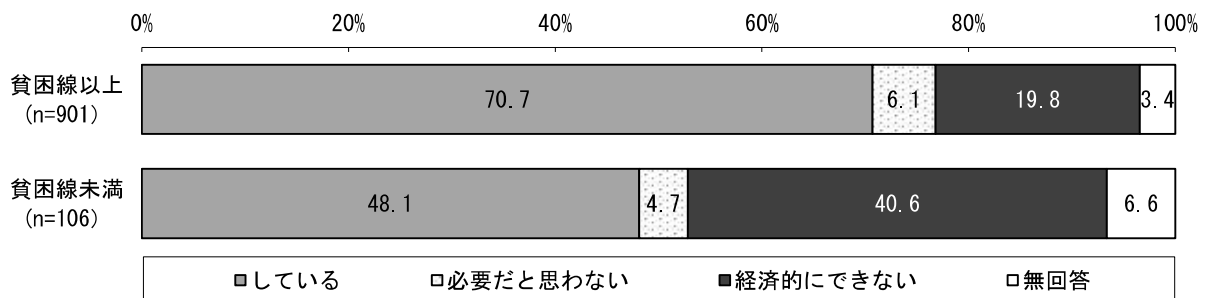
(3) 習い事(音楽・スポーツ・習字等)に通わせる



(4) 学習塾に通わせる



(6) 1年に1回くらい家族旅行に行く



こどもと出かけたことがある場所について

問 37 過去1年間に、お子さんと出かけたことがある場所について教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

- 『貧困線未満』は『貧困線以上』に比べ、出かけたことがある割合が低い場所が多く、「図書館や博物館、美術館」、「スポーツ施設」、「キャンプや海水浴」で低くなっています。

